



Flameのツールは、よりスピーディに、より自信を持って制作に取り組めるようにしてくれるだけでなく、オートデスク システムのROI(費用対効果) も向上させてくれます。

— Scott Malkie
ポストスーパーバイザー／
Flameアーティスト
The Martin Agency

Autodesk® **Flame**® 2012

Autodesk® **Flame**® Premium 2012

Autodesk® **Flare**™ 2012

Autodesk Flame Premium: フィニッシングのあらゆる面に、 さらなるコントロールを

オートデスクのクリエイティブ ツールが革新的な
3Dビジュアル エフェクトとフィニッシング ワーク
フローを提供



Image courtesy of Mikros Image.

クリエイティブ3Dフィニッシング

テレビ コマーシャルのポストプロダクションや放送グラフィックスを手がけるフィニッシング アーティストは、Autodesk® Flame® 2012およびAutodesk Flame Premium 2012によって、よりクリエイティブなコントロールを手にすることができます。

カラー グレーディングとビジュアル エフェクトが1つに統合されたことは、コマーシャル ポストプロダクション業界において他社のサービスと差別化するための大きなチャンスです。実績あるFlameの3Dビジュアル エフェクトに加えてオートデスクの選りすぐりのフィニッシング ツール、プロフェッショナルなリアルタイムカラー グレーディングまで網羅するフィニッシング スイートは、Flame Premiumだけです。

バージョン2012には、3Dリライティング用の新しいツールやステレオスコピック3D (立体視) 用の強力なフィニッシング ツールを含む包括的な機能セットが搭載され、CGパイプライン、ビジュアル エフェクトおよびリアルタイム カラー グレーディングとの相互運用性が向上しています。フィニッシング アーティストは、プロジェクトのカラー、ライト、3D空間を形作っていく上で、フィニッシングのあらゆる面に対してより多くのコントロールが可能になりました。そしてもちろん、実績あるFlameのスピードと直感的なワークフローは2012でも変わっていません。

実績あるクリエイティブ ツール

FlameおよびFlame Premiumでは、3DコンポジットのためのActionや統合された3Dトラッキング、Batchプロシージャル コンポジット環境、モーション エスティメーション タイムワープ、Colour Warper™、Master Keyerなど、直感的なユーザ インタフェースとともに高精度なビジュアル エフェクト ツールが搭載されています。Flame Premiumは、Autodesk® Lustre® 2012のリアルタイムカラー グレーディング機能と、Autodesk® Smoke® Advanced 2012の完全なタイムライン ワークフローが含まれた、オートデスクの究極のフィニッシング ツールセットです。

Action

Flame Premiumには、従来の2Dコンポジットのインタラクティブなスピードと、強力な3D ツールとを兼ね備えた、真の3Dコンポジット環境である、Actionが搭載されており、シームレスにエレメントを合成します。グラフィックス プロセッシング ユニット (GPU) アクセラレーションを利用したパフォーマンスによって、解像度の異なるメディア レイヤ、3Dライティング エフェクト、ジオメトリをブレンドして、素晴らしいビジュアル エフェクトを短時間で作成できます。

Autodesk®

Flame Premiumは、コンフォーム、コンポジティング、リアルタイム カラーグレーディング用ツールによって、ステレオスコピックのためのエンドツーエンドのフィニッシング ワークフローを提供

Actionの新しい3Dライティングツール

Flame 2012およびFlame Premium 2012の強力なライティング ツールによって、Action内でライトを操作できるようになりました。レンダリングされたシーンの上からエフェクトを重ねるプラグインとは異なり、Flame 2012では、GPUアクセラレーションを利用したリアリスティックなライティング エフェクトを、3Dコンポジティング環境内で、必要な部分に直接コンポジットできます。Actionの新しいライト タイプを使用すると、リアルなコンポジットをゼロから作成したり、Autodesk® FBX®データ交換テクノロジーを利用してAutodesk® Maya®のシーンを読み込んでリアルにコンポジットする作業が簡単になります。

ステレオスコピック3Dのビジュアル エフェクトとフィニッシング

Flame Premiumには、リアルタイムの3Dカラーグレーディングから豊富な3Dビジュアル エフェクト ツールセットまで、基本的なレベルで3Dに対応したクリエイティブ ツールセットが用意されているため、ステレオスコピック3D (S3D) のフィニッシング サービスを実績あるオートデスクツールで提供することができます。

また、再設計されたAction内の3Dトラッキングワークフローでは、アーティストはエレメントを分析し、S3Dフッテージを3D空間により正確にレイアウトできます。

3DCGIとのワークフロー

FlameおよびFlame Premiumでは、オートデスクのアニメーション製品とのより効率的な連携を可能にするツールを使用して、マルチレイヤのCGコンポジットとフィニッシングとを統合する新しい方法を利用できます。また、FBXをサポートしているため、3Dアニメーション ソフトウェアのより多くの3Dデータセット情報をアニメーターとフィニッシング アーティストとの間で共有できます。新しいGatewayクリップ ワークフローによって、Flame Premiumを独自のCGパイプラインやレン

ダリング ワークフローにより簡単に統合できます。この他にも、ジオメトリ キャッシュ、Projective テクスチャ、FBXを利用したSubstanceマテリアルの共有がサポートされました。

Batch

Batchを使うことで、カスタムのプロセス ツリーを自由に構築し、各エフェクトの作業に合わせて調整できます。また、ショットのバージョンを複数作成したり、複雑なコンポジットをサブセクションに分割し、簡単に管理できます。Flame Premiumを使用している場合のみ、Smoke Advancedのタイムライン ワークフロー内でBatchとActionのすべてのクリエイティブ ツールセットを使用できます。

Flame FX

Flame FXは、サードパーティ製プラグインと異なり、クリエイティブ ワークフロー内の必要な場所に統合されています。Flame FXツールには、GPUアクセラレーションを利用したプロシージャル ノードが用意されており、基本的なコンポジティング作業や、ワープ、波紋、エッジ検出、エンボス、フィルムノイズの追加などの画像操作に利用できます。

リアルタイム カラー グレーディング*

Flame Premiumでリアルタイム カラー グレーディングを行いたい時には、FlameからLustreに簡単に切り替えることができます。フィニッシングにプロフェッショナルの専用ツールを使用することで、フィニッシング作業間でマルチレイヤ タイムライン全体をそのまま移動できるため、1セッションの時間を短縮できます。

エディトリアル フィニッシング

FlameおよびFlame Premiumは、直感的なタイムラインベースのワークフローを実現します。Smoke Advanced*のタイムライン ワークフロー内でFlameのBatchとActionのすべてのクリエイティブ ツールセットを自由に駆使することができるので、アーティストは使用するクリエイティブ

ツールセットに制限されることなく、プロジェクトの必要に応じたワークフローを選択できます。EDL、AAF、OMF、Apple® Final Cut Pro® XMLの各種ファイルに対応した高度なコンフォーム ツールを活用することで、VFX、エディトリアル、カラーグレーディング各ツールセットで共有できるマルチレイヤ タイムラインを迅速に作成できます。

*Autodesk Flame Premiumでのみ利用可能

Flareでクリエイティブな生産力を向上

3Dビジュアル エフェクトの生産力を向上させる必要がある場合は、Autodesk® Flare™の導入をお勧めします。Flareはソフトウェアのみで提供され、Flame Batchプロシージャル コンポジション環境のすべてのクリエイティブ ツールセットを利用できます。Flameと同じクリエイティブ ツールが搭載されたFlareは、ロトスコピーングやレタッチといったサポート タスクに加えて、高度なクリエイティブ タスクも行えるよう設計されています。

Flareは、フローティングライセンス形式に対応しているため、ファシリティ内でより柔軟に活用できます。Flareは、フィニッシングパイプラインにFlameのコンポジティングパワーを追加する、コスト効率のよいスケラブルな製品です。アーティストは、Flareをスタンドアロンのクリエイティブ ステーションとして使用することも、セットアップやメディアを共有しながら複数のFlareステーションを使用してFlameおよびFlame Premiumプロジェクトの共同作業を行うこともできます。

あるいは、Flareをモバイル ワークステーション上で使用して、Flameのパワーを利用した、撮影現場での強力なVFX環境として使用することも可能です。

AREA JAPAN ユーザ情報 Webサイト
area.autodesk.jp

Autodesk Flame / Flame Premium 2012 製品Webサイト www.autodesk.co.jp/flame

Autodesk®

オートデスク株式会社 www.autodesk.co.jp

〒104-6024 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー3F

TEL:0570-064-787 (オートデスク インフォメーション センター)

※Autodesk, Colour Warper, FBX, Flame, Flare, Lustre, Maya, Smokeは、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

© 2011 Autodesk, Inc. All rights reserved.

M&E504-1103(Z)

オートデスク認定販売パートナー